

キュウリホモプシス根腐病の土壌消毒を成功させるポイント

【土壌消毒効果を安定させるためのポイント】

- (1)キュウリホモプシス根腐病を対象としたクロロピクリンくん蒸剤によるマルチ畦内土壌消毒を行う場合、畦幅を90cm程度(1,350mm幅マルチ相当)とすると、慣行の60cm程度(950mm幅マルチ相当)に比較して防除効果が高まります(図1)。
- (2)慣行畦幅とする場合でも、畦の高さを15cm、マルチの裾を15cm程度埋め込むことによりマルチ畦内土壌消毒の効果は高まります(図2)。

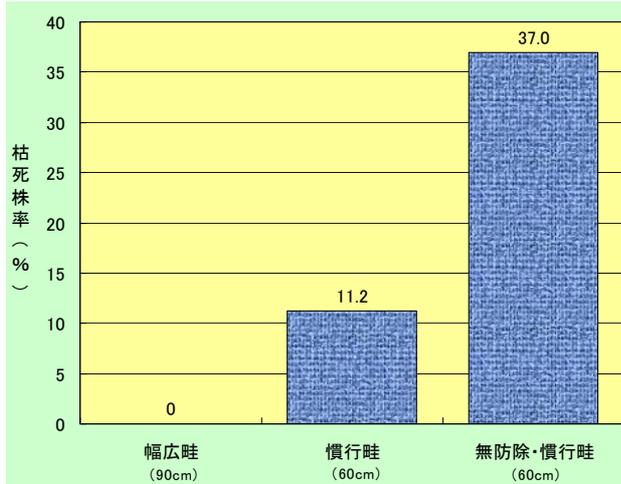


図1 土壌消毒畦幅と防除効果

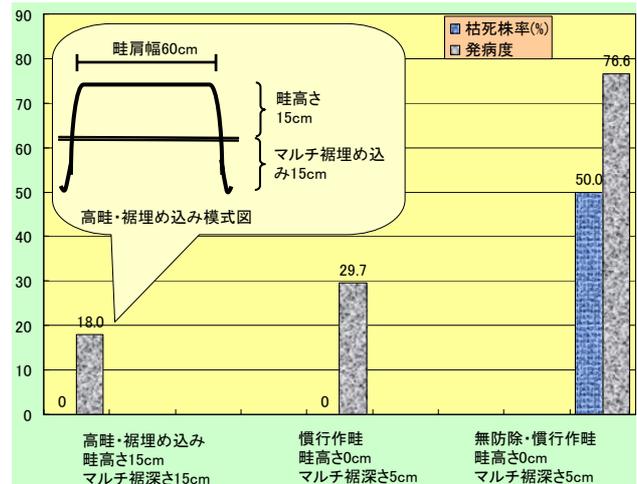


図2 畦形状と防除効果

- (3)マルチ畦内土壌消毒後は、畦の肩付近に苗を定植すると防除効果が劣るので注意しましょう(図3)。

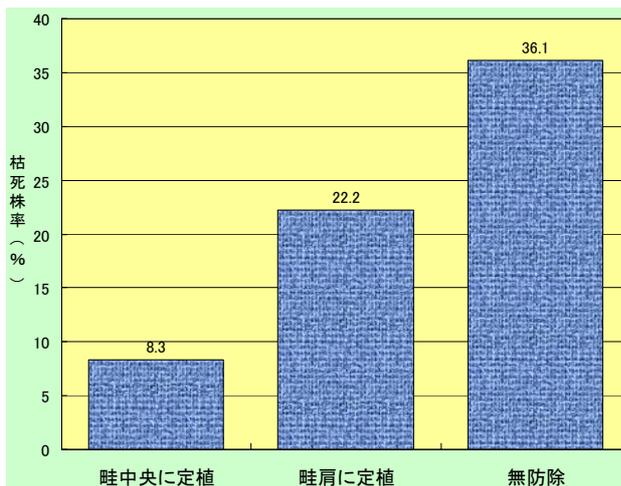
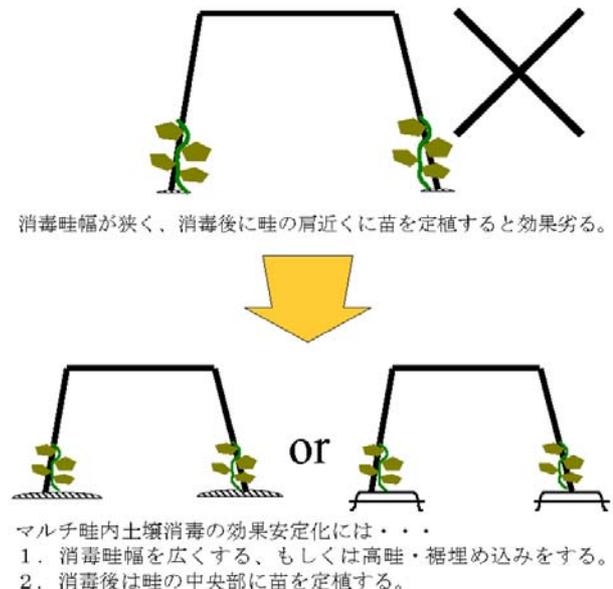


図3 消毒後の苗定植位置と防除効果



【留意事項】

- (1)土壌消毒畦幅を広くする場合は、使用量もマルチの幅に応じて増量する必要があります。
- (2)土壌消毒効果は1作のみで、次作への効果持続は期待できないので注意してください。